

平成29年度

瑞穂野地域学校園の取組

《瑞穂野中学校 瑞穂野北小学校 瑞穂野南小学校 瑞穂台小学校》



学校園ビジョン

9年間の連続した学びの中で、

生きる力（確かな学力、健やかな体、豊かな人間性・社会性）
を育てる小中一貫教育

ミドリーム

ア 確かな学力を育むために

- ・「瑞穂野漢字ミニマム」(瑞穂野漢字習得基準表)を活用し、9カ年間に繰り返し指導することで、基礎学力の確実な定着を図ります。
- ・「(正しく)読む・書く・話す・聞く」といった基礎的な言語能力の育成を、9カ年間の各校・教科年間指導計画に位置づけて、継続的・系統的に図ります。
- ・学習内容定着度調査やとちぎっ子調査などの結果を一緒に分析することで、学校園全体の学力の特徴や問題点を把握し、ともに取り組みます。
《学習力分科会》

イ 健やかな体を育むために

- ・基礎体力向上のために、児童・生徒の実態を分析し、それぞれの発達段階に応じて準備運動・補助運動の仕方を共有するなど、継続的・系統的に働きかけます。
《体育分科会》
- ・学校園内で行う健康・保健指導の仕方等を統一し、可能な限り衛生面や感染症予防の指導を共通化します。
《保健分科会》
- ・学校園食育だよりの発行、「みずほの献立」の実施やお弁当の日の同一日実施など、学校園で統一した食育指導をすすめます。
《食育分科会》

ウ 豊かな人間性・社会性を育むために

- ・道徳の教科化を見据え、小中で連携して行う授業づくりを進めます。また、「小中9年間を通した心の教育一覧表」を作成し、それぞれ自校化しながら実践を重ねます。
《心の教育分科会》
- ・9年間を通した読書指導や学校園図書だより「穂のぼの」の発行、「家読」の推進などで、豊かな人間性・社会性の育成を図ります。
《図書館教育分科会》
- ・冒険活動での共同活動や乗り入れ授業、「瑞穂野あいさつ運動」を通して、『地域で学ぶ子供たち』の集団性を高めます。また、リーダー経験を通して上級学年となる児童・生徒の主体性を高めます。
《生徒連携交流分科会》
- ・「瑞穂野あいさつ運動」や「ホタルの飼育」での地域住民との交流を通して、瑞穂野地域の特徴について理解を深め、地域愛を育てます。
《地域連携交流分科会》
- ・学校園内の情報交換を密接に行い、発達段階に即した児童生徒の健全育成(特にいじめ防止と規範意識の涵養)と特別な支援が必要な児童・生徒への効率的なサポートを図ります。
《児童生徒指導・教育相談分科会》 《特別支援分科会》
- ・学校事務業務の一貫化・共通化・INB化など。
《事務分科会》



H28 「みずほの献立」



ホタル放流会



瑞穂野あいさつ運動